能勢町・三草山“ゼフィルスの森”と長谷の棚田

活動記録

オオミズアオの表側は白色

担当３班

【実 施 日】: 令和５年６月 16 日（金曜日）　　【天　　候】:晴れ時々曇り
【集合場所】: 能勢電鉄・山下駅　9:50　　【参加人数】:58 名
【行　　程】: 阪急バス 10：05 発（77 系統）乗車➡森上で下車・森上バス停➡慈眼寺➡登山口➡ゼフィルスの森➡三草山頂上（昼食、班長会議）➡才の神峠（地元の畠さん案内）➡長谷の棚田➡長谷の公民館🚻（イチゴ）➡山辺口バス停にて解散（16：24　16：54 乗車）➡能勢電鉄山下駅
【所　　感】
・三草山（みくさやま）は大阪府豊能郡能勢町と兵庫県川辺郡猪名川町の府県境に位置する標高（564m）のナラガシワなどの広葉樹を主体とした雑木林に多種多様な生物種が暮らすなだらかな独立峰の山です。その自然の豊かさの存在を保護する目的で大阪府緑地環境保全地域の指定を受けています。山頂の南東側には整備の行き届いた雑木林があり「ゼフィルスの森」と名付けられナラガシワ・クヌギ・アベマキなどの貴重な樹木が繁茂していて、そのような木を好んで産卵するチョウ、ミドリシジミ、オオミズアオなどが生息しています。山頂からは北摂の山々と大阪平野が一望できました。
山の北側には日本棚田百選に選ばれた長谷の棚田が広がっています。地元の畠（はたけ）さんが才の神峠の歴史、棚田の歴史など解説してくださいました。山のすぐ北の才ノ神峠には 8 本の道路が通っており能勢町最古の道標も残っており、かつては重要な道路でした。壇ノ浦の戦いの折には源義経も立ち寄ったそうです。

オオミズアオの裏側は緑色

・畠さんの娘さんのご家族が経営されているイチゴ縁中川さんからとれとれの完熟イチゴ、公民館に届いていてイチゴを皆で食べた。
とても甘く美味しかった。
・梅雨時の活動で一番気になるのは天候です。登山開始時は快晴、時々雲の影もあって猛暑ではなかったのが幸いでした。台風もあってそら組活動中止が続きましたが、久しぶりの好天気で皆様満足されたようでした。約 2 万歩、13 ㎞、お疲れさまでした。

登山の前のストレッチ

三草山、ゼフィルスの森“の登り

三草山頂上にて昼食

才の神峠にまつわる歴史、畠さんの解説

かやぶき屋根の修復風景

イチゴ縁中川のハウス